

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 6 月 12 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	帯広市議会 帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地 帯広市役所議会棟 2F 議会事務局				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 6 月 8 日 (木)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	①移住・定住について ②ふるさと納税について				
政務活動参加者	神山哲太郎	池田謙次	大野正和		
					計 3 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市におきまして現在および今後、人口減少に伴いましての影響を考慮し、移住・定住対策を更に進めることにより魅力のあるとまこまい、選ばれるまちにならなければならない、様々な手法他を調査させていただく事を目的とします。 更には、ふるさと納税につきましても同様でとまこまいの魅力を発信し提案型のふるさと納税を調査し、本市に何ができるのかを考えるために調査させていただきます。 《移住・定住について》 ○令和 3 年 1 月に帯広市のホームページを更新されましたが、そのトップページに（市民の方）（観光の方）（移住ふるさと納税）のページに直接入る表示をつけるようにしたそうです。これはそれだけ全市で力を入れていて、必要性があったとの事でした。 ○特に若い子育て世代の移住が多いとの事で調査させていただきましたが、数的現状は増えているわけではなく減ってはいない、何とか現状維持でとの事でしたが、すごい事だと思いました。 たくさんの施策の一つの例として、移住されてきた子育て世代が集まりグループワークをアウトドアで行い、開放的な場所で情報交換や困っている事など話し合える場所を交流会として行い、それらを定期的に行っているそうです。 参加者は安心感につながり、次に来る人へのアドバイスもできて				

好循環になっているとの事でした。(直近の交流会の参加人数は21名)

○広報活動や口コミも含めて若者に優しく住みやすい街との知名度が上がってきた。証として9か月の間に133件の問い合わせがあり、30代40代からの問い合わせや実際移住する方が多い結果となっております。

○若者だけが多いのかと言いますとそうではなく、60代以上も一定数いるとの事でした。それは第二の人生を過ごすのに気候や環境が良いとの理由が多かったとの事でした。アナウンスはここに力を入れている様子でした。

○移住案内パンフレットを作ることにより案内がしやすく、効果の手ごたえがあるということです。内容は、市の基本情報はもちろん、衣食住の良い所の紹介、観光スポット他自慢できることの紹介、移住定住をされた方々の体験談の紹介、起業の仕方、子育て支援や暮らしに関する事、年代別の生活費シミュレーションなどを紹介されており、移住・定住を考える方々にとってはかなり有益な情報だと思いました。

○役所内に移住ワンストップ窓口が設置されており、問い合わせされる方の情報収集をはかることができ次の策を講じるための情報を得られやすい所がメリットですし、やはり移住定住を考える方々に対しても、移住後の相談窓口にもなり誰もが安心感を得ることができる場所になっております。

《ふるさと納税について》

○帯広市ではふるさと納税を「おびひろ応援寄付金」と名付け呼んでおります。感謝の気持ちを前面に出すのが大きく見る事が出来ました。

○寄付申請時に寄付金の使い方を選ぶのに、苫小牧市は大きく4項目、帯広市は16項目、多くの項目を作るのにメリットとデメリットがあるとはいえ、寄付を頂くのに、具体的にこう使われていると実感するような仕組みは絶対的に必要だと思います。

○特定寄付金と性質が違い、返礼品を目当てとする寄付がゼロではないため、性質上使い道の選択が多ければ多いほうが良いという事が実感できました。

○2019年までは企画担当部署が業務を担当しておりましたが、2020年からは観光交流課に移行された。返礼品などで観光業界が関連することが多かったため点と点が線でつながったようなイメージがありましたとの事でした。

○返礼品の種類や数を増やすための取り組みとして、物産協会などと常に情報交換をし、アプローチを行政側からかける事を絶やさないとの事でした。

○御礼はがきを5種類作って返礼品に入れる取組みをされております。寄付者がSNSで投稿したり、コレクション的なようになっております。

	《所感》 移住定住についてもふるさと納税についても観光関連を担当する部署が全責任を担い推進しているという事です。 この各所の相乗効果が大きく動き出した要因だとお聞きしました。どちらにしても相談体制がしっかりと確立されておりました。 帯広市の食料自給率が 1100%という事でそれらを前面に出して大きく地の利を生かされていると思いました。 本市におきましても地の利をしっかりと掌握し生かせる体制を確立できる提案をできればとおもいました。	
	資料名（会派保管）	「帯広市紹介パンフレット」 「帯広市の概要」 「帯広市移住案内パンフレット」 「帯広市における移住促進・ふるさと納税の取り組み」

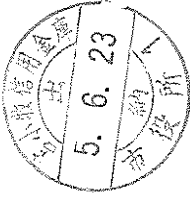
会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

納入通知書・領収証書

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	9 資料作成費	整理番号	2
------	---------	------	---

口座番号	02780-5-960064	加入者	苫小牧市会計管理者
摘要	令和5年度タブレット賃借料政務活動費負担分 (公明党議員団) 2,400円×5人×1ヵ月		
苫小牧市議会			
会派 公明党議員団 団長 神山 哲太郎 様			
会計	01 一般会計		
款	22 諸収入		
項	04 雑入		
目	05 雑入		
節	34 議員負担金		
細節	01 議員負担金		
細々節	01 議員負担金		
担当課 9200000000 議世事務局			
金額	¥132,000 円		
納期限	令和 5年 6月30日		
本書のとおり納入してください。 令和 5年 6月21日 苫小牧市長			
納入できる場所 指定金融機関 : 苫小牧信用金庫本・支店及び市役所内派出所 収納代理金融機関 : 苫小牧市内に本・支店がある全国の金融機関、北海道内のゆうちょ銀行・郵便局 苫小牧市私出張所、のぞみ出張所及び沼ノ端出張所			
上記の金額を領収しました。 ※この証書は重要な証拠になりますから大切に(5年間)保存してください。		領収日付印	
令和5年度 調定番号 納付書番号	1008763 12090		
苫小牧市		(納入者保管)	

事業名、使途及び内容等

令和5年度5～3月分 タブレット賃借料政務活動費負担分

備考

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

3

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	秩父別町(こども屋内遊戯場 キッズスクエア「ちっくる」)									
用務	こども屋内遊戯場 キッズスクエア「ちっくる」について									
期間	令和5年9月21日(木) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎 池田 謙次 大西 厚子 藤田 広美 大野 正和 計 5名									
概算・精算金額	86,400 円	精算金額	円							
		差 額	円							
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 5 年 9 月 22 日		 上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日	印							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
9月21日	苫小牧	札幌				71.2	3,630	1,150	3,000	
	札幌	深川				106.6		2,360		
	深川	秩父別				8.8				
	秩父別	深川				8.8	3,630			
	深川	札幌				106.6		2,360		
	札幌	苫小牧				71.2		1,150		
										食事代 0
小 計					0		7,260	7,020	3,000	0
合 計				17,280 円 × 5 名 = 86,400 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 9 月 25 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	こども屋内遊技場 キッズスクエア「ちっくる」 秩父別町 1264 番地 1				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 9 月 21 日 (木)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	こども屋内遊技場 キッズスクエア「ちっくる」について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次	藤田広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 秩父別町は「子ども子育て応援宣言」をしてまち全体で子育てをするためにハード、ソフトの両側面から取り組みを展開しているとの事でした。 本市には子どもの居場所作りや子育て支援を手厚くしてほしいとのご要望が多々あるということを認識しております。 今回は全天候型の遊戯施設を視察させて頂き、先進的な事例を本市にどう反映できるのかを学ぶ事を目的とします。 《こども屋内遊技場 キッズスクエア「ちっくる」について》 ○ちっくるは平成 29 年 4 月 1 日オープン、5 億 4,900 万円の建設費で建てられました。 ○最初の建設のきっかけは、冬季間の子どもたちの遊び場の確保の声から始まったとの事でした。 ○利用料金は大人子ども問わず無料、屋外施設なども最初から無料に設定されており、理由は当初目的が町民の為との事しか考えてなかったのも、そのまま現在にいたるとのことでした。 ○建設費財源は町単独費。維持管理費・指定管理費は年間 1,480 万円で、財源はふるさと納税を使わせて頂いているとのことでした。(直近のふるさと納税額は 8 億円超、お米など農産品が人気との事でした) ○室内大型遊具は以下 8 点要素を持ち合わせているとの事です。				

	① めまいた遊び行動（跳ぶ・はねる・ゆれる等） ② 能動的遊び行動（登る・走る・もぐる・這う等） ③ 体性感覚遊び行動（さわる・押す・つかむ等） ④ 視聴覚的遊び行動（見る・聞く・声を出す等） ⑤ ゲーム的遊び行動（競争ゲーム等） ⑥ 知的能力（安全・危険の察知能力の発達・好奇心、創造力、思考力等の発達） ⑦ 情緒的能力（思いやり、譲り合い、集中力等の育成） ⑧ 社会的能力（協調性や問題解決能力等の育成） 以上の要素により子どもたちの成長をしっかりとサポートされております。 ○屋外遊技場キュービックコネクションと隣接されているキャンプ場、ファミリースポーツセンターにつきましても視察させていただきました。（利用料はキャンプ場テント1張500円、以外は無料） ○入場者数はコロナ前10万人/年を超えコロナ禍の昨年度でも5万人/年を超える方が利用されました。人口約2,200人の町でこのような町外からの誘客はものすごい効果だと思いました。 《所感》 最初は地域からの「冬季間の遊び場が欲しい」との声からだったのかもしれませんが、施設の整備を進めていざ運用となった後にキャンプブームに乗って「子どもを暇させない遊べるキャンプ場」と言うのが口コミやネットで広まり町外からの誘客につながったとの話を聞きました。当然、全天候型なので間違いなく遊べる施設として全道各地から来られるそうです。説明頂いた町職員の方は、偶然と言われておりましたが、本来の意味である子どもたちを町全体で育てるとの事をブレずに施策を進めているのが印象的でした。 あえて入場料を取らないのも後に見えてきた「交流人口を増やしたい」との新たな目標で、効果として休日に町の飲食店、商店、などが賑わいを見せているとの事でした。 子どもだけではなく、親や祖父母と一緒に来て体を動かして街に笑顔があふれているとの事でした。 状況環境は違いますが、本市の施策に提案反映するために良き学びとさせていただきました。
資料名（会派保管）	「秩父別町 町勢要覧2020」 「こども屋内遊技場 キッズスクエアちっくる概要書」 「屋外遊技場 キュービックコネクション施設概要書」

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	4
------	---

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	函館市(はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ)									
用務	はこだてみらい館・はこだてキッズプラザについて									
期間	令和5年9月26日(木) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎		大西 厚子							
	池田 謙次		大野 正和							
			藤田 広美							
			計 5名							
概算・精算金額	86,000	円	精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和5年9月27日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日		印					
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃			鉄 道		日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
9月26日	苫小牧	函館		往復		495.0	8,300	5,900	3,000	
										食事代 0
小 計					0		8,300	5,900	3,000	0
合 計				17,200 円 × 5 名 = 86,000 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 9 月 29 日

会 派 公明党議員団参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ 函館市若松町 20 番 1 号 キラリス函館				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 9 月 26 日 (火)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	はこだてみらい館・はこだてキッズプラザについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次	藤田広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市におきましても中心市街地活性化の施策は近い将来実行に移されます。函館市におきましては、計画の中で駅前施設を再開発し商業施設・集合住宅・子育て世代活動支援施設を集約して整備させ、全体としての波及効果を見込んで、はこだてみらい館・はこだてキッズプラザを整備開設しました。 子ども子育ての施策をまだまだ進めて欲しいとの市民要望がたくさんある中、以上がどのような効果をもたらしたのか、また、本市において利点や効果がないのかどうか学ぶ事を目的とします。 《両施設共通》 ○平成 28 年 10 月 15 日オープンで総事業費は 20 億 1,458 万円強 ○JR 函館駅の前にキラリス函館との名称で建ち、3 階にはこだてみらい館、4 階にはこだてキッズプラザ、5～16 階までは分譲マンションになっています。1 階 2 階は店舗や銀行などが入りにぎわいの創出になっているようでした。 《はこだてみらい館について》 ○市民に対してもそうですが、観光客に対しての意識が強いように感じました。実際に平日は特に修学旅行の子どもたちの利用が多いとの事でした。特に道内の小学生が多く、東北の小学校にも営業をかけて今では利用されているとの事でした。				

	○土日でも半数以上は市外からの利用者だそうで、観光ついでにと利用される方が多いようです。そんな中、地元の子供たちのためにとあらゆるイベントや学び企画を行っているとの事でした。 ○施設の内容も大画面ビジョンと人が連動するであったり、3Dプリンターのものづくり体験、360度に広がる市内映像を見る事ができるスタジオなど先進技術を体験できるなど良い体験ができる施設になっておりました。 ○R4年度の利用者数は5万5千人余りでやはり修学旅行シーズンや観光シーズンの8月に多いようです。 《はこだてキッズプラザについて》 ○こちらは対象年齢が下がり、幼児から利用できる施設となります。子育て支援や幼稚園・保育園の団体利用にも対応しているとの事で、市内にこのような施設があれば学びにも寄与できると思いました。 ○市内の子育て支援がメインかと思いきや、こちらでも平日休日問わず観光で立ち寄る方が多いとの事でした。話を聞くと小さなお子さんは家族旅行などで観光していても子どもはじっとしている事が出来ずに体を動かしたいもので、観光地のど真ん中の遊び場は最適地だとの事でした。なるほどの納得で、利用者はR4年度8万5千人余り、ピーク時は11万5千人余りだそうです。 ○施設の内容は知育玩具や安心安全の遊具がそろえられており、親からしても安心して利用できる内容でした。 ○こちらは室内の遊び場なので1～3月の利用が多いとの事でした。地方から来られる方がこれだけ多いとやはり需要はあると思いました。 ○託児室や子育て相談室には多くの市民の方が気軽に利用されている良い場所になっているそうです。 《所感》 中心市街地活性化、まちづくりに子育て支援を連動させることの有効性を大いに学ばせて頂きました。 両施設とも指定管理者が、本来の目的をしっかりと保ちながら子どもたちのためにと様々な企画運営をされていることが印象的でした。 本市にどの様にして反映できるのかをしっかりと取り組みたいと思います。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="448 1910 746 1921">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="746 1910 1453 1921"> 「函館市の概況」 「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ経緯概要」 「はこだてガイドマップ」 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	「函館市の概況」 「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ経緯概要」 「はこだてガイドマップ」
資料名（会派保管）	「函館市の概況」 「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ経緯概要」 「はこだてガイドマップ」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	4 研修費	整理番号	5
別紙のとおり			
事業名、使途及び内容等 10月24日 多文化共生勉強会参加費（研修謝礼）			
備考 領収書原本コピー添付			

多文化共生勉強会 講師謝礼金配分計算書

会派名	議員名	個人配分	会派配分
新緑	金澤 俊	¥1,875	¥13,125
	山谷 芳則	¥1,875	
	喜多 新二	¥1,875	
	竹田 秀泰	¥1,875	
	山田 隆子	¥1,875	
	嶋中 康晴	¥1,875	
	志方 光徳	¥1,875	
公明党市議団	藤田 広美	¥1,875	¥1,875
民主クラブ	小山 征三	¥1,875	¥9,375
	松尾 省勝	¥1,875	
	佐々木 修司	¥1,875	
	橋本 智子	¥1,875	
	岩田 薫	¥1,875	
改革フォーラム	牧田 俊之	¥1,875	¥3,750
	越川 慶一	¥1,875	
会派市民	桜井 忠	¥1,875	¥1,875

参加人数 16名

¥30,000

公明党市議団

様

1,875

円

多文化共生勉強会の講師謝礼金について、上記の計算の通りご請求いたします。

令和5年10月27日

苫小牧市議会 新緑

会長 金澤 俊



領 収 書

苫小牧市議会議員 様

¥ 30,000

(内訳 27,273 円 消費税 10% 2,727 円)

勉強会謝礼として上記のとおり受領しました。

令和 5 年 10 月 24 日

大阪市淀川区西宮原 1-8-日宝新大阪第 2 ビル 802
一般財団法人 ダイバーシティ研究所
代表理事 田村 太郎

登録番号 : T2-1200-0501-2200

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

6

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	京都市(京都市立洛風中学校)									
用務	不登校特例校の取り組みについて									
期間	令和5年11月14日(火)～令和5年11月15日(水) 2日間									
出張者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 池田 謙次 藤田 広美 計 5名									
概算・精算金額	338,300 円	精算金額	円							
		差 額	円							
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 5年 11 月 16日		 上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日	印							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
11月14日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000	
	新千歳空港	伊丹空港		パック	56,800					
	伊丹空港	大阪		モ	440					
	大阪	京都	京都			42.8	580			
11月15日	京都	大阪				42.8	580		3,000	
	大阪	伊丹空港		モ	440					
	伊丹空港	新千歳空港								
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660			
										食事代 1,500
小 計					57,680		2,480	0	6,000	1,500
合 計				67,660 円 × 5 名 = 338,300 円						
備 考 ※視察時間の都合により、前泊する。 ※パックに夕食が提供されないため、食事代として1,500円(半日当相当額)を支給する。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 11 月 16 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	京都市立洛風中学校 京都府京都市中京区曇華院前町 706				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 11 月 14 日 (火) ~ 15 日 (水)			2 日間	
政務活動項目 (名称等)	不登校特例校の取り組みについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次	藤田広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 全国的にも本市におきまして不登校児童生徒数は増加し、その原因としてあるいじめ認知件数も増加しております。児童生徒はもちろんのこと、保護者、家族も同様に不安や悩みを大きくされる問題となっております。 平成 16 年から文部科学省の不登校特例校として開校した京都市立洛風中学校ですが、開校以前に市を挙げて様々な取り組みを経てきたことをお聞きしました。 先進的な対策対応取り組みを学ぶ事を目的とします。 《京都市教育委員会》 ○政令指定都市であります市という事を前提として教えて頂きましたが、やはり独自で対策対応を実行に移す決断が出来やすかったという事はありますが、「まちづくりは人づくりから」との文化が作り上げられた歴史が今にも引き継がれているとの事でした。 ○具体的な施策として、学校における支援体制の強化を図るためにいち早く全校にスクールカウンセラーを配置し、スクールソーシャルワーカーの適正配置や学生ボランティアと連携をして支援を強固にしたとの事でした。 ○多様な学びの機会の確保という事で、出来ることは全部やろうとこの度おじゃましました洛風中学校開校、もう一校洛友中学校も不登校特例校で夜間中学が併設された中学校開校、フリースクールとの連携で家庭訪問事業などの展開、教育支援センターを市内 5				

	カ所運営など展開されて、相談体制も充実されております。 《京都市立洛風中学校》 ○「仲間とともに納得して学び直す心を開いて遊び、語り合い、健全な心身を養い、様々な課題を克服する学びの実践を通して自らの夢を創造し、歩む社会的自立のできる生徒の育成」を20年間変わらずのテーマで来たとのことでした。 ○開校までの取り組みの歴史は平成元年に「山のおじさん事業」があったそうです。これは不登校の子どもたちを対象に、自然の中で宿泊を伴うキャンプ生活を実施したそうです。 ○「学校らしくない学校」にすることで生徒の精神的負担を排除したいと考えていました。具体的な一例で、クラスを学年別ではなく縦に割る工夫をされておりました。そうすることにより協調性が養われ生徒の対人のプレッシャーも和らぐ効果があるとの事でした。（同級生と比べられる気持ちになる） ○特例されるひとつとして年間総授業時数が770時間（学習指導要領では1015時間）に設定されており、例えば理科と社会を総合的に科学の時間として、独自の教科科目での学びを作られておりました。 ○全市内から1時間以内で登校できる利点もあり、登校時間は9:30～9:45と遅めの設定にされており、ここも不登校生徒の早起きできない傾向をとらえてプレッシャーの排除をされている取り組みでした。 《所感》 不登校を経験した生徒と何年も向き合ってきた先生の生の声をお聞きし大変に有意義な視察をさせて頂きました。 不登校になる原因は「まじめすぎる」というイメージだそうです。「自分のせいでみんなの時間を止めてしまっているのではないか」という気持ちにどうしても立ってしまう、様々な事に妥協することが出来ないことが多いそうです。 学校に来ることが出来るようになる「きっかけ」は人によってさまざま、例えばバスケットボール日本代表がオリンピック出場決定してから登校できるようになった生徒もいたそうです。「登校刺激」は人それぞれだそうです。 お聞きしたお話しを不登校でお悩みの保護者などたくさんの方に聞いてほしいと心から思いました。 <table border="1" data-bbox="446 1780 1445 1910"> <tr> <td data-bbox="446 1780 742 1910">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="742 1780 1445 1910"> 「京都市の不登校児童生徒への支援施策」 「京都市立洛風中学校 学校案内」 「京都市教育相談総合センター パンフレット」 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	「京都市の不登校児童生徒への支援施策」 「京都市立洛風中学校 学校案内」 「京都市教育相談総合センター パンフレット」
資料名（会派保管）	「京都市の不登校児童生徒への支援施策」 「京都市立洛風中学校 学校案内」 「京都市教育相談総合センター パンフレット」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	3 調査研究費	整理番号	6
別紙のとおり			
事業名、使途及び内容等 11/14(火)・15(水)京都市(京都市立洛風中学校)不登校特例校の取り組みについて 航空券・宿泊パック料金(1泊1食付)として、56,800円×5名=284,000円			
備考			

領 収 書

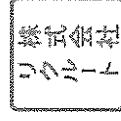
発行 No.AJP0001161217

表示日: 2023年09月27日

下記、正に領収いたしました。

宛名	公明党議員団様		
金額	10%対象 ¥284,000—	内消費税額 ¥25,818 ※但し、航空券代・宿泊代等として(クレジットカード決済)	
予約番号	AJP3AALKKX		
旅行期間	2023年11月14日 ~ 2023年11月15日		
決済日	2023年09月27日		

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



RECRUIT

株式会社リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサービスター

登録番号: T5010001149426

7

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	滝川市(滝川市立図書館)									
用務	滝川市立図書館の取り組みについて									
期間	令和5年11月17日(金) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎			大西 厚子			大野 正和			
	池田 謙次			藤田 広美						
									計 5名	
概算・精算金額	69,900 円			精算金額			円			
				差 額			円			
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 5年11月20日					上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日				印	
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
11月17日	苫小牧	滝川		往復		286.2	6,380	4,600	3,000	
小 計					0		6,380	4,600	3,000	
合 計				13,980 円 × 5 名 = 69,900 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 11 月 20 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	滝川市（滝川市立図書館） 滝川市大町 1-2-15				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 11 月 17 日（金）				1 日間
政務活動項目 (名称等)	滝川市立図書館の取り組みについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次	藤田広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 滝川図書館は市役所庁舎内にあり、まちづくりの一翼を担っていると伺いました。 行政間や地域、学校や病院などとの連携を重要視しており、様々な先進的な取り組みを行っております。 本市におきましても、まちづくりの可能性が広がる取り組みや、市民生活と図書館のつながりを深くとの事を学ぶ事を目的とします。 《滝川市立図書館》 ○本市や他市におきましても指定管理者制度を利用して民間ノウハウを活用しサービスの向上と経費削減をされておりますが、滝川市におきましては直営で運営されておりました。 ○メリットは各所連携がしやすい事だと感じました。 ○行政連携は防災対策の部署に防災関連の書籍を、健康づくりの部署や産業、観光、選挙管理委員会など各部署に関連書籍を選定したうえで書籍コーナーを作っておりました。すべて図書館主導です。 ○地域連携も活発で、地域の書店と連携して共同事業を数多く実施され、市民のためになっている様子でした。つながることができるのはすべてつながるとの気概を感じました。 ○学校連携に関しましては、授業で使える本コーナーの設置や、				

読書アルバムの作成運営をするなど、学校に対して運営支援も担っていて、子どもたちが手を伸ばせば読書できる環境づくりを図書館が担うと決めているそうです。

○数あるこどもの読書活動支援事業の中で、「読書アルバム」を作成配布し、読んだ本の題名と著者、日付、一言感想を書き、冊数に応じて賞状を配布、500冊達成したら教育長から表彰される取り組みは競って読まれているそうです。

○同様に0才からの未就学児童のいる家庭向けに「絵本ダイアリー」と題して読み聞かせ日記を作成配布、1冊読み聞かせするたびに書名、お子さんの成長の記録や反応を書き入れるという取り組みもされておりました。

○企業、団体、個人が対象で、1年間雑誌を寄贈する取り組み「雑誌ささえ隊」が良い取り組みでした。雑誌を寄贈するとカバーの表面に企業・団体・個人名（希望制）、裏面にPRチラシを掲載することが出来て、会社団体のPRと社会貢献活動と図書館の経費削減にもなり市民サービスにもなる取り組みでした。

○置かれている雑誌121誌中66誌がささえ隊（視察時）で運営されており、年間50万円程経費削減になっているそうです。ささえ隊の応援隊長さんがいるようで、大きく声掛けしているそうです。

○図書館ボランティア「ブックフレンド」制度があり、34名の方が平均週4日間来て頂いているそうです。内容は、読み聞かせ（こども・高齢者）・本の修理・カバーかけ・新聞スクラップ・障がい者向けCD作りなど多岐にわたる作業をして頂いているとの事でした。

《所感》

「まちづくりの中心が図書館」との思いに立って図書館運営されているだけあってかなり活発な運営をされておりました。

まちなかの賑わい創出を図書館が考えるのが素晴らしく、「まちなかコンシェルジュ」として職員さんがお店や団体を取材して図書館発信でPRする取り組みはかなりのエネルギーが必要です。

図書館に限らず各所各立場で強くまちづくりを考え推進することの大事さをこの度学ばせて頂きました。

資料名（会派保管）

「滝川市立図書館パンフレット」

「えほんダイアリー・読書アルバム・たきりブ通帳」

「滝川市立図書館活用ガイド」

他パンフレット

会派内回覧



(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	3 調査研究費	整理番号	8
------	---------	------	---

納入通知書兼領収書

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号		様	
苫小牧市議会公明党議員団		様	
年 度	令和5年度	主管課	ゼロカーボン推進課
会 計	001一般会計		
款 項	21 諸収入		
目 録	04 雑入		
節 節	02 雑入		
細 節	153行政視察受入収入 (ゼロカーボン推進課所管)		
細々節	001行政視察受入収入 (ゼロカーボン推進課所管)		
納入金額		20,000 円	
納入期限		令和5年11月21日	
内 行政視察に係る費用として 苫小牧市議会公明党議員 令和5年11月21日(火) 5,000円×4名			
上記の金額を納付して下さい。		領 収 日 付 印	
令和5年11月20日		出納1 領 収 5.11.21 上士幌町指定金融機関 都庁上士幌支店	
上士幌町町長 竹中 貢			

(納入者)

◇ 納める場所

- ◇ 上士幌町役場
- ◇ 収納代理金融機関
 - ・ 十勝信用組合 本支店
 - ・ 上士幌町農業協同組合
 - ・ 北洋銀行帯広中央支店
- ◇ 指定金融機関
 - ・ 帯広信用金庫 本支店

事業名、用途及び内容等

令和5年11月21日 上士幌町行政視察費用
5,000円×4名 合計 20,000円

備考

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

9

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	上士幌町(上士幌町役場)									
用務	未来へつなぐ持続可能なまちづくりにおけるゼロカーボンの取り組みについて									
期間	令和5年11月21日(火) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 池田 謙次 計 4名									
概算・精算金額	77,680	円	精算金額 円 差 額 円							
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 5 年 11 月 22 日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日 印							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
11月21日	苫小牧	南千歳				27.2	4,510		3,000	
	南千歳	帯広				176.2		2,730		
	帯広	上士幌		バス	970					
	上士幌	帯広		バス	970					
	帯広	南千歳				176.2	4,510	2,730		
	南千歳	苫小牧				27.2				
										食事代 0
小 計					1,940		9,020	5,460	3,000	0
合 計				19,420 円 × 4 名 = 77,680 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 11 月 22 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	上士幌町（上士幌町役場） 上士幌町字上士幌東 3 線 2 3 8 番地				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 11 月 21 日（火）			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	みらいへつなぐ持続可能なまちづくりにおけるゼロカーボンの取り組み について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次				計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 上士幌町は国の「脱炭素先行地域」に第 1 回目で選定され、文字通り脱炭素の取り組みを先駆的に取り組まれている町です。 本市におきましても、先行地域に選定されましたが、どんどん前のめりになって進めなければなりません。 先行地域ならではの取り組みに触れ、学ぶ事を目的とします。 《取り組み全般》 ○地方創生の取り組みとして人口減少対策を若者ターゲットに事業を構築し推進したそうです。例えばお試し暮らしの家 10 軒を用意し住んでもらい、医療・福祉に力を入れ良さを実感して定住、との流れが 2015 年から 5 年間で構築されて結果人口増につながりました。財源はふるさと納税だそうです。 ○様々な地方創生の取り組みをした結果、転入者の 70% 以上が若年層で、高齢化率上昇も抑え、町民所得も上がり、税収も上がるという好循環の成果を上げられました。 ○SDGs 達成を本格的な取り組みとして推進する事によってすべての未来を創るという思いで取り組まれており、すべてが繋がっております。 ○都市企業人の呼び込みや地元事業者と地方のビジネスマッチング等を目的として、「かみしほろシェア office」を整備、テレワークの拠点として年間 10 万円程で利用することができ、視察時で 13				

社が登録利用されているそうです。横のつながりができて良いそうです。

○上記施策が進み、町外の企業者などが滞在する施設が必要になってきたことにより、企業滞在型施設「にっぽうの家」を整備（町設民営）、地元事業者などとの交流を大きく発信して頂いているとの事でした。

○MaaSプロジェクトと題して次世代高度技術の社会実装をして住民生活の利便向上を図っておりました。具体的な例として自動運転バスの実証実験は6年前（2017年10月）から始めて、現在は1区間、月・木・土曜日（1日6便）の運行を継続実施中でした。現在の運行はタクシー会社に委託されているとの事です。

○町内運行バス（高齢者福祉バス、農村部2路線）をデマンド化し事前予約制にして空き時間を可視化、沿線住民の利用拡大を図りました。高齢者にタブレット端末を配布（町で100台）、使いやすさに特化した設計で高齢者自身がタブレットから予約し利用する仕組みです。運行時間や回数が7割以上減になり、利用人数は3倍以上になる結果が出ました。

○資源循環型農業と銘打ち、バイオガス発電プラントの整備を平成29年から整備し、エネルギーの地産地消を図りました。

○家畜のふん尿を発酵させてバイオガスを発生させてガスエンジンにより発電し電気ビジネスを展開して酪農畜産農家をはじめ町内に売電します。メタン発酵後のふん尿は消化液となり液肥として草地や畑地に散布されます。その牧草を家畜のえさにして飼育し、残りは乾燥させて敷料（寝わら）にリサイクルするという資源循環型農業となります。

○SDGs推進本部を役場内に立ち上げ具体的に推進、SDGsプロジェクトチーム（教諭、高校生、商工・農業・金融・福祉・観光関係者、役場職員など若者約20名で構成）を立ち上げ具体的な取り組みを検討実施されておりました。例として、上士幌町を舞台としたボードゲームを作り上げ、それを活用して普及啓発活動を行っており、更には学校では年間30時間も授業を受け持つとか、企業団体で出前講座を受け持つなど、活発な活動を展開されておりました。

《所感》

ゼロカーボンとまちづくりを学びに行かせて頂きましたが、地方創生事業、教育、福祉、経済、環境もすべてが脱炭素の取り組みにつながっていると思いましたし、改めてすべてをつなげて展開する重要性を学ぶ事が出来ました。

本市規模でできる事とできない事は当然あるとは思いますが、この度学ばせて頂きました事を反映できるところは多くあると思いましたので、提案し続けていきます。

	資料名（会派保管）	「みらいへつなぐ持続可能なまちづくり」 「上士幌町ふるさと納税と寄付金の活用」 「かみしほろの未来を創る SDGs」 「みんなで考えよう SDGs」 「ふるさと創生北海道上士幌町のキセキ」
--	-----------	--

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	10
------	----

令和5年度	支出科目	調査研究費							
出張先	石狩市(石狩市役所)								
用務	こども未来館あいぽーとの取り組みについて								
期間	令和5年11月24日(金) 1日間								
出張者名	大野 正和 池田 謙次 藤田 広美 計 3名								
概算・精算金額	26,280 円	精算金額	円						
		差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 5 年 11 月 27 日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日	印					
旅 費 内 訳 書									
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃	鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急	
11月24日	苫小牧	札幌		往復		71.2	2,640	2,300	3,000
	札幌	石狩		バス	410				
	石狩	札幌		バス	410				
	札幌	苫小牧				71.2			
									食事代 0
小 計					820		2,640	2,300	3,000 0
合 計				8,760 円 × 3 名 = 26,280 円					
備 考									
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。									

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 5 年 11 月 27 日

会 派 公明党議員団参 加 者 大野 正和

政務活動先 (目的地)	石狩市役所 石狩市花川北 6 条 1 丁目 30 番地 2				
開催団体等					
政務活動期間	令和 5 年 11 月 24 日 (金)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	こども未来館あいぽーとの取り組みについて				
政務活動参加者	大野正和				
	池田謙次	藤田広美			計 3 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市にはこどもの居場所作りや子育て支援を手厚くしてほしいとのご要望が多く、会派全体としても承っております。 子育て支援策として大型施設を展開しております先進地におきまして経緯や運営方法、成果等を学ぶ事を目的とします。 《石狩市役所》 ○こども未来館あいぽーとは、0 歳から 18 歳までを対象に、子どもたちの健全育成の総合的な機能を持つ大型児童センターとしての役割で 12 年前から指定管理者制度を利用して運営されております。 ○乳幼児と保護者が集う「りとるきっず」や、登録制の放課後児童クラブ「花っ子クラブ」が併設されております。 ○指定管理者は地元の NPO 法人で長年にわたり子育て施策の中心となって活動されてきた団体で、その団体の持つノウハウを児童館運営に活用することが利用者やまちのためであると自信をもって話され、あくまでも経費削減目的ではないとの事でした。後に記述しますが、なるほど子どもたちの視点に立った運営をされておりました。 ○こどもの居場所づくり、特に学童を過ぎてからの居場所がなくなると感じる子どもが多く、主体的に活動する場を提供することが重要施策となったそうです。				

○こども会議も活発に行われており、小学三年生から高校生までで構成されておりました。その中学生の意見から、「ふれあいの杜こども館」が作られました。又、あいぽーと前の公園に巨大滑り台がありましたが、これもこどもたちの意見から作られたとの事でした。

《こども未来館あいぽーと》

○開館日は毎月第3日曜日及び年末年始（12/29～1/3）を除く毎日と、開館時間は平日10時～20時、土日祝が9時～18時までと子どもの居場所づくりを基本とした運営でありますのでニーズに合った運営でありました。

○ちょうど学校終わりからの時間に受け入れて頂きましたが、高校生までの全世代が来ており、中には高校生たちが卓球をしていて、そこに小学生たちが紛れ込み、一緒になって遊びだしました。普段から仲良らしく、世代を超えての交流になっている素晴らしい流れとなっております。

○NPO 法人の理事長さんにご案内頂き懇談させて頂きましたが、まさに全世代と一緒に遊ぶことの大切さを語られておりました。例えば、ボールを投げる遊びを一緒にしていると、強く投げる弱く投げるが分からない世代が分かる世代と遊ぶことによって学習をすることができる、時間いっぱい全力で遊んでほしいと語られていたことが印象的でした。

《所感》

この度はこどもの居場所づくりのヒントをたくさん頂いた視察とさせて頂きました。先の理事長さんのお話しには続きがあって、今のこどもたちは様々な情報はたくさん持っているけれど、何遊びをしたら良いかわからない、故に異世代と全力で遊ぶ事が大事ともお話しされておりました。

不登校特例校の視察の時も中学校のクラスを縦割りにする事がありましたが、ここに共通点があり、間違いない事だと認識をしました。

本市におきましてもこども施策に反映できるようしっかりと提案をさせていただきます。

資料名（会派保管）	「行政視察資料 こども未来館（あいぽーと）について」 「こども未来館あいぽーとにあそびにおいて資料」 「議会要覧」「市勢要覧」「いしかり市議会だより」
-----------	---

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	---	--	--	--

支出伝票

使用科目	9 資料作成費	整理番号	11
発行日: 2024年01月30日 公明党議員 領収書 ¥11,745 108対象 但し ¥11,745 (内消費税 ¥1,067) ※印刷面を内側に折って保管願います。 株式会社ヤマダデンキ 群馬県高崎市栄町1-1 電話番号: 7270001036729 管理No. 1041-407-0011929 伝票No. 1041-407-241708 1041407241708B			
事業名、使途及び内容等 会派控室で資料作成のために使用する事務機器(印刷機)用消耗品費 インク代 11,745 円 (内消費税 1,067 円)			
備考 苫小牧市議会政務活動費に関する取扱要領第4条第5項第4号により按分 2分の1 11,745 円 × 1/2 = 5,872 円			

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

12

令和5年度	支出科目	調査研究費								
出張先	千葉県柏市(柏市役所)									
用務	AED GOキャンペーンについて									
期間	令和6年3月21日(木)～令和6年3月22日(金) 2日間									
出張者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 池田 謙次 藤田 広美 計 5名									
概算・精算金額	270,400	円	精算金額 円 差 額 円							
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 6 年 3 月 25 日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
3月21日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000	
	新千歳空港	羽田空港		パック	42,900					
	羽田空港	浜松町		モ	520					
	浜松町	柏	柏			35.8	660			
3月22日	柏	浜松町				35.8	660		3,000	
	浜松町	羽田空港		モ	520					
	羽田空港	新千歳空港								
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660			
										食事代 1,500
小 計					43,940		2,640	0	6,000	1,500
合 計				54,080 円 × 5 名 = 270,400 円						
備 考 ※視察時間の都合により前泊する。 ※宿泊は1泊1食付き。(朝食付き) ※羽田空港利用時は、モノレール料金で起算駅東京までの料金として690円が支給されるが、浜松町-(東京)-柏間(鉄道)660円と区間が重複となるため、羽田空港-浜松町までの料金(モ)520円、浜松町-(東京)-柏までの料金(鉄道)660円で支給する。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 6 年 3 月 25 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	千葉県柏市（柏市役所） 千葉県柏市柏 5-10-1 市役所 6 階				
開催団体等					
政務活動期間	令和 6 年 3 月 21 日（木）～ 22 日（金）			2 日間	
政務活動項目 (名称等)	AED GO・救命ボランティアについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	池田謙次	藤田広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 全国的にも本市におきまして普及され設置されてきた AED ですが、行き届くべき人に行き届いていない現実があります。当然、準備万端で使用されないのが一番良いのですが、救う事が出来る命がある限り行き届かす方法を模索するべきだと思います。 柏市の先進的な対策対応取り組みを学ぶ事を目的とします。 《AED GO・救命ボランティア》 ○柏市消防局が運営運用する「AED GO」は主に屋外におきまして AED を必要とする人に行き届いていない現実があります。当然、準備万端で使用されないのが一番良いのですが、救う事が出来る命がある限り行き届かす方法を模索するべきだと思います。 ○ボランティア登録者は事前にスマートフォン等にアプリをインストールして準備をします。通知音とともに AED 場所の地図と心停止現場情報がメールシステムにより通知されます。駆けつけ可能か不可能かを返信し可能であれば AED を持って駆けつけます。 ○周辺 10 市で共同指令化されている指令センターから市内の屋外で発生した心停止の疑いのみの出動指令を抽出して発生現場半径 1.2 km 内の登録者 10 名に配信します。現場に AED もしくは救急が到着した時点で対応者に終了通知が送信されます。 ○公共施設 237 施設、コンビニエンスストア 128 施設、民間施設にも協力を頂きながら救急救命ステーション 82 施設、AED サポートステーション 19 施設と環境整備に力を入れた後に仕組みを作られたそうです。その他当然民間で準備されている AED についても協力を頂いております。				

	○AED G0 は平成 30 年から導入されており、成果としましては登録救命ボランティア数 2,260 名で誰でも登録できるのが特徴です。イメージは救命講習などを受けてから登録という流れでしたが、とりあえず AED を持っていくだけでも一つの命が繋がる可能性があることで、逆にそのおかげで救命講習の受講者が大きく増えたとの事で、講習の回数も導入前と比べてものすごく増えたとの事でした。 ○H30 からの発動回数は 325 回、行動を起こした方は 140 人という事でした。根底の意識は人のためにというボランティア意識が行動につながった成果であると思いました。 ○中でも関心深かったのは、救急車より早く到着した方が 16 人いて、その中で AED を持参した方が 4 人、更に AED を使用までした方は 2 人いたそうです。残りの 12 人はどうしたかという、一律ではありませんが例えば傷病者が AED より近かったためいち早く傷病者のもとへ行き心臓マッサージを行われたとの事でした。これらは救命講習を受けられて知識として身につけられた成果でした。 ○現在のところ、救命ボランティアさんが救急車より早くに到着して AED を使用し傷病者が蘇生したという事案は無いとの事でしたが、上記のような大きな成果が出ておりました。消防の職員さんは必ず目に見えて救われる命が見える時が来ると言われてました。 ○AED G0 導入のきっかけのひとつであります、設置した AED がほとんど使用されておらず使用率を上げることに关しましてお聞きしましたが、柏市で H27 年から R 元年までの 5 年間で心停止合計 1,901 件のうち AED を使用されたのはわずか 26 件 (1.3%)、倒れるところが目撃された心停止合計件数 477 件からみても 5.4%、95% 以上の人に AED が届いていないとの事でした。そのために様々な広報活動をされているとの事でした。 ○現在運用するにあたって課題は、現在 2,260 名登録されているボランティアさんを増加させる事と、行動開始することに戸惑っている方々への促しとのことでした。 《所感》 本市におきましても救われるべき命がどのくらいあるのか、AED がどのくらい使用されているのか、費用対効果はあるのかななどを調査する必要があると思いました。 ボランティア活動という性質上、特に慎重に検討しなければならないと思いますのでしっかりと調査してまいります。 資料名（会派保管） 「AED G0・救命ボランティアについて」説明資料 「令和 5 年度 議会要覧」 「市議会だより」
--	--

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	3 調査研究費	整理番号	12
別紙のとおり			
事業名、使途及び内容等 3/21 (木)・22 (金) 千葉県柏市 (柏市役所) AED GO・救命ボランティアについて 航空券・宿泊パック料金 (1 泊 1 食付) として、42,900 円×5 名=214,500 円			
備考			

領収書

発行 No.AJP0001206262

表示日: 2024年02月07日

下記、正に領収いたしました。

宛名	公明党議員団 様
金額	10%対象 ¥214,500 — 内消費税額 ¥19,500 ※但し、航空券代・宿泊代等として(クレジットカード決済)
予約番号	AJP3AWL0M3
旅行期間	2024年03月21日 ~ 2024年03月22日
決済日	2024年02月07日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



株式会社 リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサワスタワー

登録番号: T5010001149426